

● 2 子どもと母親(保護者)の健康づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性を見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
新規	妊娠・出産・子育てサポート事業	児童福祉分野の支援拠点と両輪の支援体制を構築する。	健康増進課	-	-	-	-	-			
35	母子健康教育	妊娠・出産・子育てに関する不安、孤立化等からの相談件数も増えている本市の現状を踏まえ、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子健康手帳交付時やその後の電話や訪問時に、保健師などによる面接を強化します。心身に不安を抱える方には、妊娠から出産・産後・子育て期までの支援計画を作成し、他機関と連携しながら妊産婦をケアサポートする「切れ目のない支援体制」を構築します。 また、出産後、心身の不調や育児不安のある母子に対し、母体及び乳児のケア・育児サポートなどを行う「産後ケア」を医療機関などに委託実施します。	健康増進課	-	B	妊婦一般健康診査は14回の助成を実施。受診件数H27…21,177件。H28…21,776件。 両親学級は保健・歯科・栄養を含めた3回1コースで年36回実施。各月の3回目を土曜日に実施した。延べ参加者数H27…778人。H28…1,015人。 むし歯予防教室H27…1,833人。H28…1,802人。 離乳食教室(前期)H27…1,265人。H28…1,385人 “(後期)H27…800人、H28…910人	・ハローベビーなどの講座に参加してとても良かったが、土日にも開催してほしい。	妊娠からの知識の普及については、医療機関等が、土日等に開催する教室や講座を共催・後援し、多くの方に知識の普及が行えるよう、開催について周知します。	有	【事業内容】 むし歯予防教室、離乳食教室を追加する。	
★36	乳幼児健康診査	定期健康診査により、疾病や発達障害の早期発見と予防に努めます。また、子育て情報の提供により、子育て中の親の孤立化を防ぎます。 ・乳幼児一般健康診査(3～6か月児、9～11か月児) ・3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査	健康増進課	B	B	乳幼児一般健康診査は2回の助成を実施。受診件数H27…3,120件。H28年…3,379件。 3か月児健康診査は個別に市内契約医療機関で実施。受診率H27…92.1% H28…94.3% 1歳6か月児・3歳児健康診査は保健センターで各2回/月開催。 1.6健診受診率 H27…96.2% H28…97.6% 3歳児健診受診率 H27…95.3% H28…96.6%	・1歳半健診など、土日にも開催してほしい。 ・市の健診などの時に、話をきいてもらい、安心した。 ・健診や各講座で、障害児に対応ができていない。	医師会の協力を要する休日の乳幼児健康診査の実施は現状困難ですが、1歳6か月児・3歳児健康診査での、安全性の確保及び待ち時間を少なくするための対応等について検討していきます。	無		
(1)子どもや母親の健康確保	37	母子健康相談	育児、栄養、運動、歯等、健康なライフスタイルの確立と母子への支援を図るため、いつでも気軽に相談できる体制づくりに努めます。 ・育児相談 ・健康相談	健康増進課	B	B	育児相談は保健センター月1回、南流山センターと東部方面(東部公民館・向小金福祉会館)は隔月で実施。 電話相談、面接相談は随時行っている。 育児相談H27…1,313人、H28…1,254人 電話相談H27…3,331人、H28…2,494人 面接相談H27…261人、H28…312人	・保健師の方に、体調の事を相談していたが、途中から連絡が来なくなったのは、残念だった。 ・根本的な育児相談をできることを増やしてほしい。	育児相談については、対象者の増加に伴い、開催回数の増加等、事業内容の見直しを行っています。また、継続した支援体制について検討していきます。	無	
	38	母子訪問指導	訪問指導によって、妊娠、出産、育児の不安の解消を図り、健康の保持、増進に努めます。特に、若年及び高齢妊産婦への支援を図ります。 ・妊産婦、新生児訪問指導 ・乳幼児訪問指導	健康増進課	B	B	妊産婦・新生児訪問指導は市内に滞在する妊婦、産婦および0～3か月未満の乳児の希望者に対して実施。里帰り出産の希望者には他市へ依頼するほか、流山市へ戻ってから訪問を実施している。H27…妊婦1件、産婦498件、新生児502件、H28…妊婦1件、産婦664件、新生児667件。 乳児家庭全戸訪問は4か月までの乳児全員に実施。不在者には2回以上の訪問を実施。H27…1,680件、H28…1,773件。	・生後1か月の頃から、保健センターより、子供のことを気にかけて連絡くれるのは心強い。産後、助産師が訪問してくれたことは嬉しかった。	今後も新生児・低体重児連絡票で妊産婦新生児訪問を希望していただけるよう妊娠中からの周知に努めます。妊産婦・新生児訪問と乳児家庭全戸訪問により、全数把握に努め、支援が必要な方に対しては、早期に支援を行います。	無	
	39	健診後のフォロー体制づくり	発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイスと、適切な対応を図ります。 ・発達・健康・心理相談 ・幼児グループ指導 ・乳幼児ケース検討	健康増進課	-	B	心理相談件数 H27…206件(82回) H28…247件(93回) 幼児グループ参加者数 H27…301人(20回) H28…291人(20回)	・言葉の遅れについて、保健師に相談したところ、連絡が来ず、自分で言葉の相談室へ連絡しました。今後の健診なども不安に感じている。	今後も、関係職種と情報共有し、支援を要する対象児に対し、適切な時期に支援を行います。	無	

● 2 子どもと母親(保護者)の健康づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
40	予防接種	今後も事業を継続し、未接種者への個別通知など効果的な接種勧奨に努め、接種率を確保します。	健康増進課	A	A	生後早期に予防接種ノートを送付しているほか、転入者の方へも通知を発送している。乳幼児健康診査時等、個別指導や健康教育を実施し、保護者への啓発普及に努めている。BCG H27…101.5%、H28…103.0% 麻しん・風しん1期 H27…102.5%、H28…101.9% 麻しん・風しん2期 H27…97.5%、H28…96.8%	・予防接種(任意)の補助をしてほしい。	今後も接種率の向上のため、乳幼児健康診査や訪問指導、就学時健診の際に予防接種による疾病予防の啓発普及に努めます。	無		
★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供	産後、育児負担を抱える家庭や家庭のサポートが得られない等、支援を要する家庭に適切なサービスの情報を提供します。	健康増進課	B	B	養育支援訪問事業実績 専門的相談支援H27…延9件、H28…延26件 育児支援H27…延17件、H28…延44件	・産後入院できる病院や助産施設を設置してほしい。 ・産後ドゥーラ利用に対する支援がほしい。	産後の入院についてはH29年10月より、支援の必要な方に対して、産後ケア事業を実施予定です。 妊娠・出産・子育てサポート事業により、妊娠期から出産後の支援体制づくりに努めます。	無		
		引き続きホームヘルプサービスを行う事業所の紹介を行います。	子ども家庭課	A	B	必要な家庭に産褥ヘルパーの紹介を行った。		引き続き、産後不安を抱える家庭に産褥ヘルパーの紹介を行うとともに、不安を解消できるように相談に応じていく。	無		
42	食に関する講座・体験学習	生涯にわたる健康の維持・増進のため、適切な食生活の習慣を身につけられるよう、各種の講座や教室の充実を図ります。 ・親と子の食生活共同体験学習の開催 ・親と子の食セミナーの開催 ・親子クッキング、給食参観 ・健康づくり推進員の活動の支援	公民館	-	A	食育講座を実施し、平成27年度2回、参加者46名、平成28年度3回、参加者48名だった。	・幼児の食育講座は良かったので、もっと内容、日数、頻度を増やしてほしい。 ・保健センター主催以外の食の講座を増やしてほしい。	平成28年度は食育講座を1回増やし実施した。	無		
		今後も事業を継続し、ハローベビー(両親学級)や、親子クッキングを通して、栄養についての知識の普及や、食育の充実を図ります。また、今後も健康づくり推進員の活動を支援していきます。	健康増進課	-	B	両親学級(調理実習参加者) H27…149人、H28…180人 推進員による栄養講座(調理実習) H27…22人、H28…74人		離乳食教室はH29年度は、3回増設しました。	無		
		今後も給食参観を通じて、保護者に給食を体験する機会を設けます。	保育課	-	A	保育所にて給食参観を複数回行い、保護者にも給食を体験する機会を設けた。		-	無		
(2) 食育の推進	43	食育指導・情報提供	保育所、学校など様々な場や機会を通して、子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組を推進します。	健康増進課	-	A	食育推進会議を開催(年3回) 2会場にて食育パネル展を開催	・給食の時間や各教科の中で食に関する指導をもっと行ってほしい。	-	無	
			引き続き事業を実施します。	学校教育課	-	A	小中共同献立を実施するなど、小中学校で連携し、食に関する指導を継続的に行なった。		特別活動や学年集会等でも食育活動を行っていききたい。また、給食日よりやHPなどを使い、家庭にも情報発信し、家庭との連携も深めていきたい。	無	
			地産地消の観点から、地元の野菜を増やし、食育の推進を図ります。	保育課	-	A	給食に使用する食材については、できるだけ地元の食材を使用し、地産地消に努めた。また、保護者には給食日より、食材だよりを通じて食に関する情報を発信した。さらに食に関する取り組みを市役所にてパネル展示をした。		-	無	
44	乳幼児の食生活指導	乳幼児が適切な食習慣を身につけるとともに、むし歯を予防するため、保護者を対象にして、離乳食の進め方や、調理実習、歯磨きの指導などを行います。 ・もぐもぐ教室(離乳食初期) ・カムカムキッズ(離乳食後期) ・むし歯予防教室 ・乳幼児健診の場を通じた情報提供	健康増進課	-	B	むし歯予防教室 H27…1,833人、H28…1,802人 離乳食教室(前期) H27…1,265人、H28…1,385人 離乳食教室(後期) H27…800人、H28…910人	・離乳食教室に参加して良かった。離乳食のイメージができて、スムーズに進められている。 ・広報を見て申し込んだが、他にも周知方法を検討してほしい。	周知方法として、広報以外に市のホームページに掲載。また、乳児家庭全戸訪問及び新生児訪問で日程表を配布しています。	無		

● 2 子どもと母親(保護者)の健康づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
45	栄養相談・栄養指導	乳幼児健診や乳幼児相談において、栄養士による相談及び乳幼児の家庭での食事を通した健康づくりを支援します。	健康増進課	-	B	各事業での栄養士による個別相談数 H27・・・2965人、H28・・・3009人	・食物アレルギー対応について、市としての最低基準を設定してほしい。	学校は、文部科学省、保育所は、厚生労働省からと、国が示したアレルギー対応の指針を基準としているため、市の基準は設けていません。	無		
		アレルギー等の乳幼児に対し、個別相談を行い、適切な給食を提供するなど、事業の継続に努めます。	保育課	-	A	アレルギー児に関しては、個別相談を行い、適切な給食の提供・対応を行った。		-	無		
(3) 思春期保健対策の充実	思春期相談体制の充実	学童期、思春期における悩みや性的問題について、電話相談の実施など相談体制の充実を図ります。	子ども家庭課	-	A	学童期や思春期における悩みを解決するために、相談体制の充実を図った。	-	-	無		
		「青少年相談」の充実に努めます。	生涯学習課	-	A	思春期の悩みや性的問題について、電話相談を行った。	-	電話相談窓口について今後も広報していく。	無		
		今後も継続して相談体制の充実に努めます。	指導課	-	A	学童期の悩みについて相談体制の充実を図った。	-	-	無		
		今後も事業の継続を図り、思春期の相談活動の充実に努めます。松戸健康福祉センターの思春期相談事業の積極的活用も図ります。	学校教育課	-	B	松戸健康福祉センターで実施している思春期保健相談について、中学校での性教育を実践する中で周知した。	-	中学校での性教育の教材化を図る中で、引き続き周知していく。	無		
		今後も相談体制を維持し、松戸健康福祉センターと連携を取り、思春期相談についての情報を提供します。	健康増進課	-	B	・松戸健康福祉センターで実施している思春期保健相談(年13回開催)のチラシを、保健センター窓口に設置。 ・中学3年生対象の性教育授業で使用するPPTの中に、相談窓口として保健センターがあることを紹介。生徒に向け周知を行った。	-	・松戸健康福祉センターの思春期保健相談については、今後もチラシを設置し、必要に応じて案内を行っていく。 ・健康教育(保健センターが実施する性教育)の中で、相談窓口のひとつとして保健センターがあることを引き続き周知していく。	無		
47	学校保健と地域保健の連携強化	学校保健や地域保健等の情報の共有化及び一元化を図る会議を開催します。 ・思春期心と体の健康づくり連絡会議 ・学校保健の研修会	学校教育課	-	B	健康増進課や松戸健康福祉センターと、学校との情報交換の場を設定した。	-	保健師等との連携により、指導の充実にさらに図っていく。	無		
		今後も生活習慣病のみならず、薬物乱用、喫煙防止、飲酒防止、体の発育に関する指導において、各関係機関との連携をはかり、充実に努めます。	健康増進課	-	A	・平成28年度青少年に対するエイズ・性感染症の啓発普及に関する教材作成等検討会を立ち上げ。 (構成員:松戸健康福祉センター、保健センター、学校教育課、市内中学校の養護教諭、体育科教員) 年4回(9・11・1・2月)開催し、中学3年生を対象とする性教育の教材を作成。 ・H29.2月:学校保健主事部会に、松戸健康福祉センター及び保健センター保健師が出席。養護教諭との意見・情報交換を行った。 ・H29.3月に東深井中での性教育授業に参加。	-	・学校保健主事部会への参加を継続することで、学校保健と地域保健との連携を強化していく。	無		
		今後も事業を継続し、学校が実施する保健活動に積極的に協力し、アンケート結果を踏まえた事業内容の充実に図ります。	健康増進課	-	A	家庭教育講座を開催した。	-	-	無		
48	性と生の教育の充実	自分を大切に、健康に生きるための学習を、保護者を対象に講座を開催します。	公民館	-	A	生命の大切さ、性の大切さを訴え、自分の心も身体も、そして他者も大切にする人権意識の啓発などを目標に、学校、家庭との連携に努めます。	-	-	無		
(4) 小児救急医療	49	救急医療体制の充実	関係機関との協議による小児救急を含めた初期医療体制を充実整備していきます。	健康増進課	-	A	夜間の小児救急医療を確保するため、平日月～土曜日の21時～翌日8時まで、東葛病院において小児救急患者の受け入れを行っています。 実績数 平成27年度・・・1,029人 平成28年度・・・1,126人	・夜間、休日に診療してくれる小児科のある病院が市内に無く、小児科も少ないので、もっと充実してほしい。 ・夜間などの救急電話相談の対応時間も長くしてほしい。	小児科の充実及び夜間対応時間の延長については、小児医師不足等により、難しい課題ですが、医師会と共有する課題であるため、医師会とともに対応を検討します。	無	